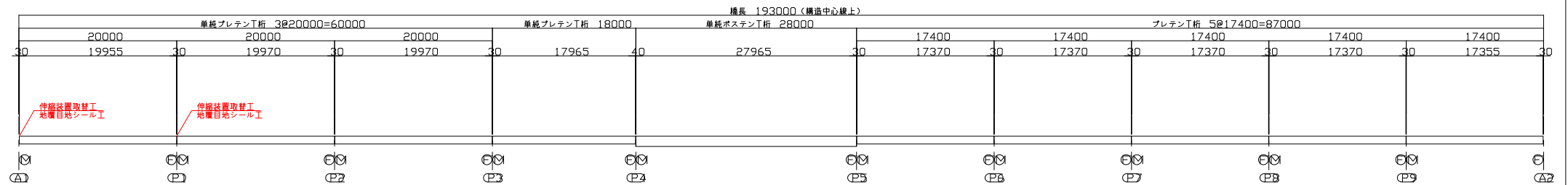


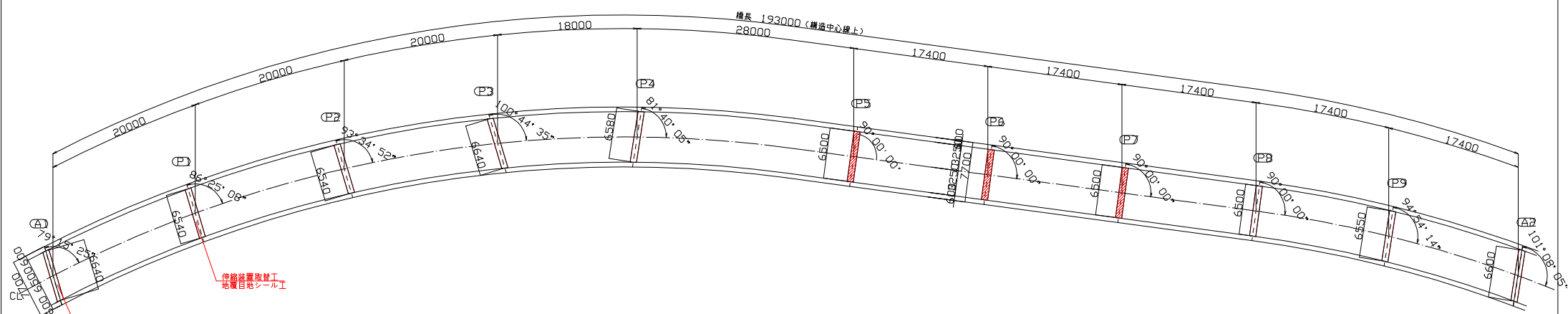
鹿向谷大橋 上部工補修一般図

側 面 図



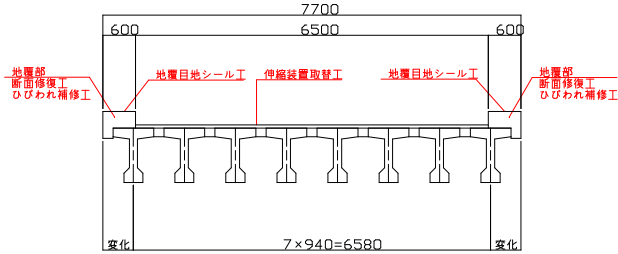
構造中心線上の寸法を示す。

平 面 図

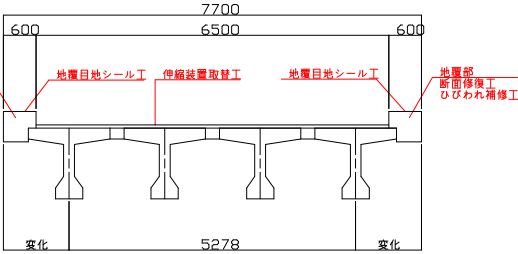


上部工標準断面図

プレテンT桁 標準断面図



ボステンT桁 標準断面図

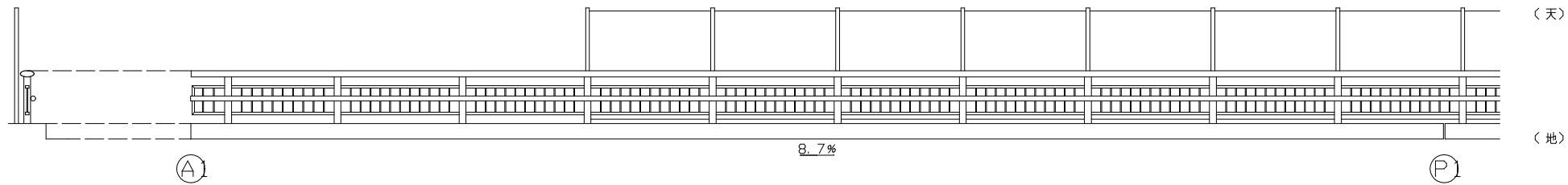


注記)
本図面は既設図面および現地計測結果をもとに作成している。斜角および車道幅員等の寸法については施工前に再度計測し施工を行うこと。

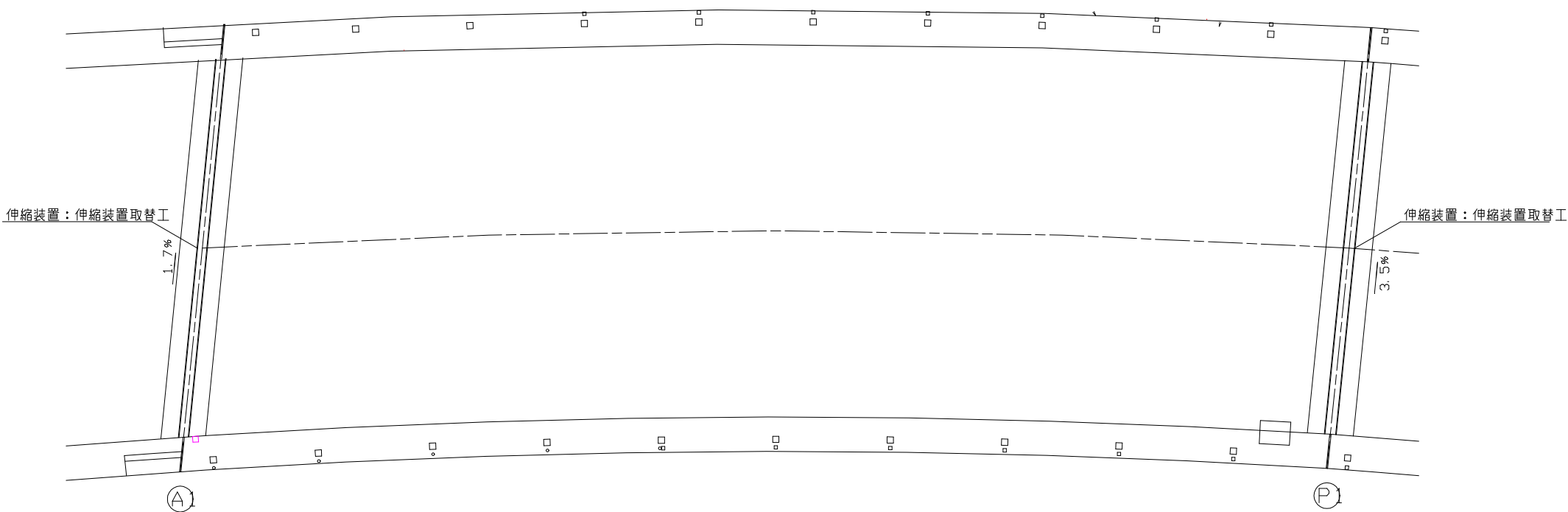
鹿向谷大橋			
太 子 町			
工事種別	上部工補修一般図		
図面名称	上部工補修一般図	縮尺	S=Non
路線河川名	町道竹内春日線		
工事箇所	大阪府太子町山田		
設計種別		図面 番号	1 4
事務所名			
会社名	国際航業株式会社		

鹿向谷大橋 補修図< 1 >
[橋面]

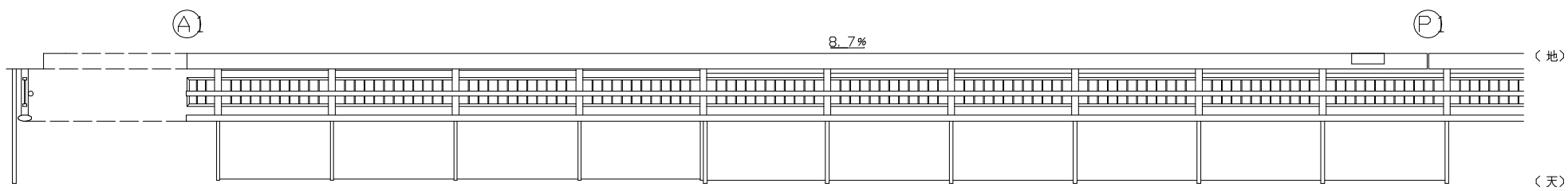
左側側面図



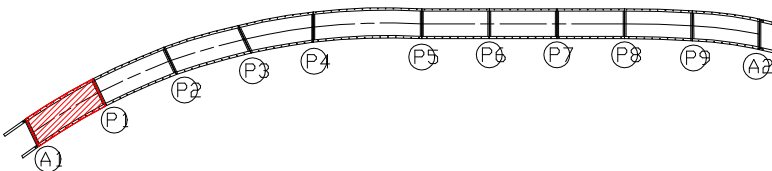
平 面 図



右側側面図



位置図

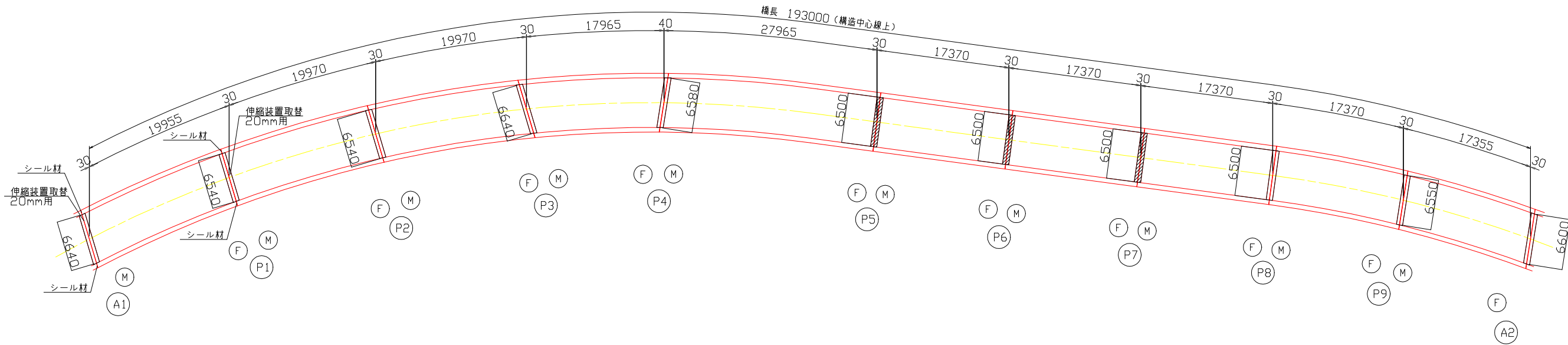


注記）
1. 施工前には必ず現況寸法を再測し、図面照合
の後、施工箇所を決定すること。

(鹿向谷大橋)			
太 子 町			
工 事 種 別			
図 面 名 称	鹿向谷大橋 補修図(1)	縮 尺	S=Non
路 線 河 川 名	町道竹内春日線		
工 事 箇 所	大阪府太子町山田		
設 計 種 別		図 面 番 号	<u>2</u> 4
事 務 所 名			
会 社 名	国際航業株式会社		

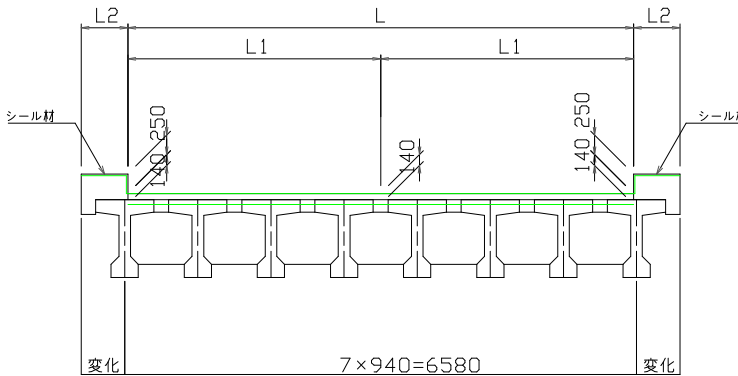
鹿向谷大橋 伸縮装置補修図 (1)

配 置 义

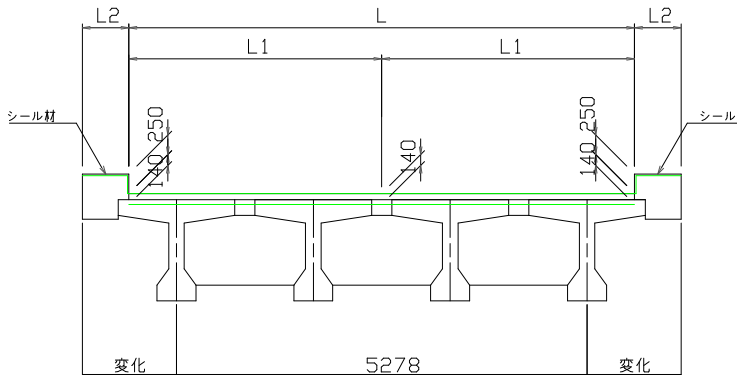


断 面 图

プレテンT桁 断面図 (A1~P4, P5~A2)



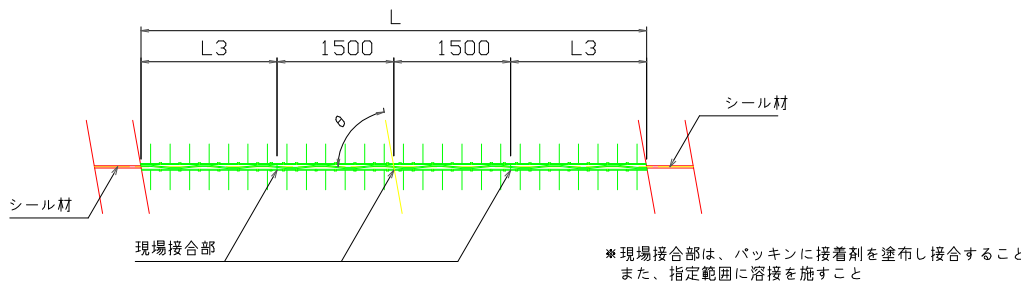
ポステンT桁 断面図 (P4~P5)



寸法表（伸縮装置延長）

	A 1部	P 1部	P 2部	P 3部	P 4部	P 5部	P 6部	P 7部	P 8部	P 9部	A 2部
L	6640	6540									
L1	3320	3270									
L2	611	601									

伸縮金物平面図



寸法表（伸縮装置割付長）

	A 1部	P 1部	P 2部	P 3部	P 4部	P 5部	P 6部	P 7部	P 8部	P 9部	A 2部
L	6640	6540									
L3	1820	1770									
θ	79° 15' 25"	86° 25' 08"									

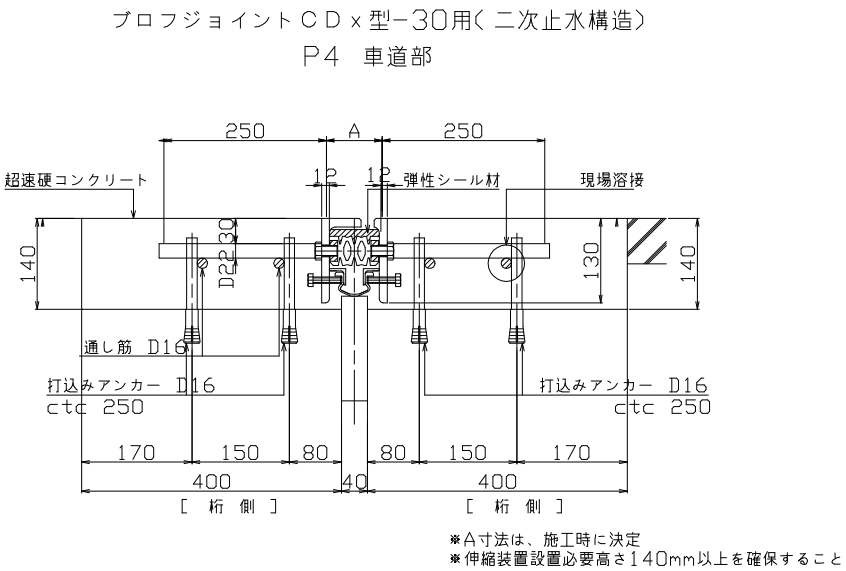
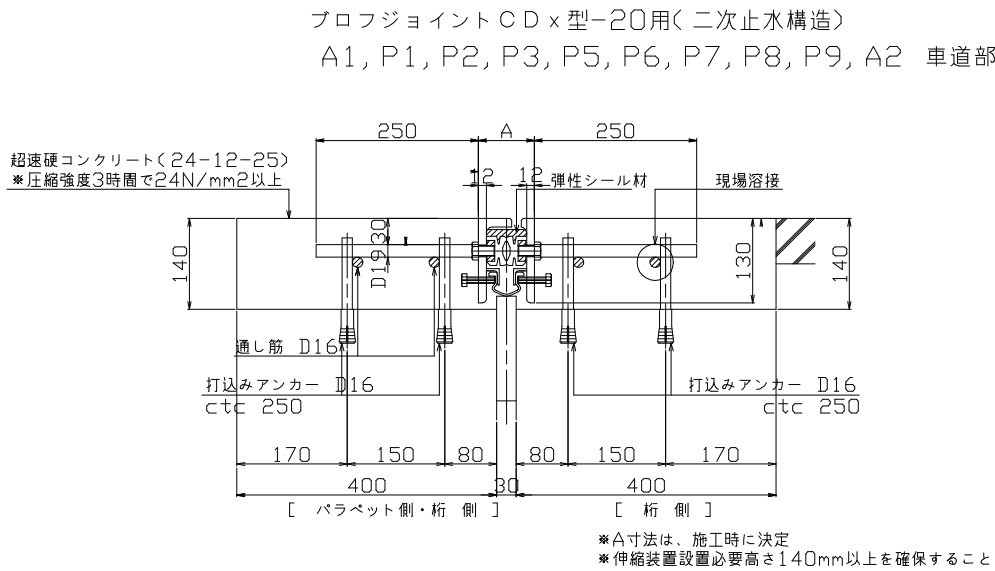
※ 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工を行うこと。

〈鹿向谷大橋〉

太 子 町			
工事種別			
図面名称		鹿角谷大橋 伸縮装置補修図(1)	S=Non
路線河川名		町道竹内春日線	
工事箇所		大阪府太子町山田	
設計種別		図面番 号	<u>3</u> 4
事務所名			
会社名			
国際航業株式会社			

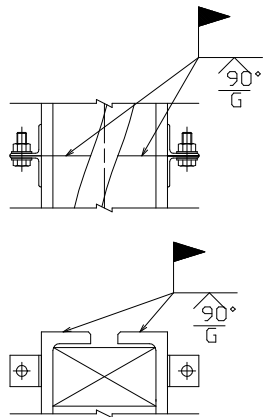
鹿向谷大橋 伸縮装置補修図（2）

伸 縮 継 手 断 面 図

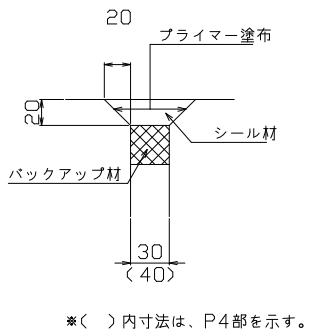


現場接合部詳細

プロフジョイントCD×型



シール材充填図



選定条件（遊間・伸縮量）

	遊間量	橋軸方向（常時）	適 用
A1部	30 mm	18. 0 mm	19. 995×0. 4+10=18. 0 mm
P1部	30 mm	18. 0 mm	19. 970×0. 4+10=18. 0 mm
P2部			
P3部			
P4部			
P5部			
P6部			
P7部			
P8部			
P9部			
A2部			

* 常時の伸縮量は余裕量を含む。
支承条件は現況の支承厚より推定。

材 料 表

名 称	材 質	単位	数 量												備 考
			A 1 部	P 1 部	P 2 部	P 3 部	P 4 部	P 5 部	P 6 部	P 7 部	P 8 部	P 9 部	A 2 部	合 計	
プロフジョイントCD×型-20用(二次止水構造)	SS400 金底ゴム SD345 弾性シール材	m	6. 640	6. 540										13. 180	車道用
プロフジョイントCD×型-30用(二次止水構造)	"	m	0	0										0	車道用
シール材	シリコン系	リッター	1. 722	1. 702										3. 424	
超速硬コンクリート		m ³	0. 744	0. 732										1. 476	
打込みアンカー	D16	本	104	104										208	
通し筋	D16×6640	本	4	0										4	上部工・下部工
"	D16×6540	本	0	4										4	"
"	D16×6580	本	0	0										0	"
"	D16×6500	本	0	0										0	"
"	D16×6550	本	0	0										0	"
"	D16×6600	本	0	0										0	"
CD×型用接着剤		式	1	1										2	20用
"		式												0	30用

特記事項

- *1 車道部伸縮装置は、耐久性・止水性を考慮して、鋼材を主部材としたフェースプレートに有する荷重支持型構造（二次止水機能付）の型式とする。
- *2 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工を行うこと。
- *3 寸法・形状等はメーカーによって多少相違があるため「参考図」とする。
- *4 製品仕様にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できる。
- *5 伸縮装置は舗装の平坦性を確保するため、後付け工法での取替を想定している。

〈 鹿向谷大橋 〉

太 子 町			
工事種別			
図面名称	鹿向谷大橋 伸縮装置補修図（2）	縮尺	S=Non
路線河川名	町道竹内春日線		
工事箇所	大阪府太子町山田		
設計種別			
事務所名		図面番号	4 / 4
会社名	国際航業株式会社		